

大切な宗像のために。



いつも全力！

宗像市議会 建設産業常任委員会 委員長

あべ よし ひで

安部 芳英

〒811-4175 宗像市田久6丁目1番
Tel / Fax 0940-32-1386
メール abeyoshihide@gmail.com
ホームページ http://abe-yoshihide.jp/



▲公式HP



新年あけましておめでとうございます。
2019年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

議員活動報告書2019年新春号

ご挨拶

宗像市議会 建設常任委員会 委員長 安部芳英

2012年の初当選以来、北崎議員とともに会派「とびうおクラブ」にて、切磋琢磨しながらまちづくりに全力で邁進してまいりました。これまで活動に対しまして、温かいご支援を賜りましたこと感謝申し上げます。

二人がさらにバージョンアップするために、「とびうおクラブ」は2018年12月をもって発展的に会派を解消いたしました。ご報告が遅くなったこと心よりお詫び申し上げます。

今後、北崎議員は「むなかたクラブ」として、私は「政道むなかた」として、よりよい宗像市にするために歩んでまいります。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようによろしくお願い申し上げます。



宗像市議会 第10回定例会<一般質問>



豪雨と共存できるまちづくり
安部 芳英 議員

1 豪雨と共存できるまちづくりを

● 内水氾濫による被害軽減対策について

Q1 雨水貯水タンクや浸透柵の設置助成を検討することができないか。

検討したが費用対効果が低いと判断した。

Q2 日の里や自由ヶ丘など比較的都市部となる地域に限定して検討できないか。

効果が非常に小さいことから設置助成の導入を予定していない。

要望 私は案を出したので執行部も具体案を考えて欲しいです！

Q3 大規模施設などに調整池や浸透柵を設置することや、浸透性舗装、芝生駐車場(グラスパーキング)などを整備することにより雨水の一時貯留や浸透機能の向上を図ることができないか。また、学校や公園、公共施設において貯留施設や雨水浸透緑地帯(レインガーデン)などの浸透施設の設置をすることで水害対策と同時に市民啓発も併せて行うことができるが、検討できないか。

現段階でも箇所によっては浸透施設は導入しているが、今後も新たな施設設置の場合には導入を検討したい。

要望 道路下などに浸透施設を設置する事例を紹介した上で、今後も検討して欲しい。

Q4 既存のため池(調整池)について、所有者の同意が得られた場合は事前放流による水位調整や池底の掘削による貯水機能向上を行うなど洪水調節機能を持たせるための検討ができないか。

現在生産者に文書で事前放流などの定期性管理の依頼をしている、掘削などは多額の費用を要し対象となる補助事業もないことから行っていない。

Q5 白水池の下流域の生産者の課題(昔は生産組合としてまとまった田植えなどの取水活動をできていたが、近年は後継者不足などの課題があり一元管理ができにくくなり、ため池からの取水時期も異なるために、今まで以上に貯水量を増やしておかなければならないために、梅雨前の事前放流について協力できにくい状況がある)を説明した上で、事前放流のための事前調整ができないか。

まずは地元に受益面積と貯水量の関係など状況確認をしたい。

要望 農水省が11月に重点ため池の基準を公表した事を説明し、白水池が設定された場合、農事という観点だけではなくて洪水調節機能の面で国などの補助金も引っ張ってこれないか検討して欲しい。

Q6 一定規模の開発行為について雨水処理に関する基準の見直しや条件付加を検討できないか。

場合によっては昨今の豪雨状況、国県の状況を見て必要であれば見直したい。

開発指導基準の降雨強度

県・他市町村	10年基準	宗像市	7年基準
--------	-------	-----	------

見直しと改善を！

豪雨に悩んでいる市民の想いを考えて、強く指摘し自分毎として受け止めて欲しい。

Q7 沼川幹線、赤間第8雨水幹線、田久幹線など本市の中心拠点の水害に影響する恐れのある水路のしゅんせつ状況と今後のしゅんせつ計画は。



今年度中に赤間第8雨水幹線のしゅんせつを行う。その他適宜行う。

要望 現地を確認して影響ある部分についてはしゅんせつをして欲しい。

Q8 河川のしゅんせつなどのインフラの維持費用については多額の予算が必要となるが、市民の生命財産を守る視点から優先的に予算を配分して欲しい。

立地適正化など選択と集中を行いながら必要なところに予算をつけたい。

要望 赤間駅周辺は宗像市の中心拠点であり、立地適正化の視点からも重要な場所なので、是非予算をつけて欲しい。

2 協働委託のあり方について

Q1 年間の広報編集業務委託は約1,100万円、ホームページ管理業務委託は約500万円と、他の委託業務と比較して高額である。これら二つの事業の委託の「必要性」、依頼額の「妥当性」、委託先選定の「公平性」についてどう考えるか。また、今後の考え方は。

競争に関して公平性の課題があるので、公募などの手法について研究し検討したい。

Q2 広報作成業務は庁内に張り付いて6人で1,100万円の委託となっている、職員人件費の妥当性や待遇、積算根拠の明確化など市民が納得のできる改善をして欲しい。

よりよいサービスを提供する観点からは市としてしっかり指導したい。

3 シビックプライドを育む広報紙

シビックプライドってなに？

「まちに対する誇りや愛着」といった意味を持ち、思いだけにとどまらず、そのまちの課題解決や活性化といった、具体的な行動に取り組む姿勢も含んでいる。

Q1 本市の広報紙にシビックプライドの醸成、ファンを増やす視点や仕掛けはあるか。

今年4月に読みやすさなどの向上を図ったほか、トップページのデザインを変更し工夫を行った。現状に満足することなく今後も市民の方が誇りを持っていただけるような誌面作り取り組んでまいりたい。

要望 視察に行った埼玉県三芳町の広報紙を紹介しながら、さらなるシビックプライド醸成のための工夫を望む。

Q2 広報紙は全戸配布が前提
自治会未加入の市民に対して配布できていないのが現状
民間のフリーペーパーのノウハウなどを活用して市内全戸に広報紙を配布する手法の検討ができないか。

広報紙の配布は自治会の貴重な収入源となっている面もあるので、全戸配布ができるように努力はしていきたい。

Q3 自治会の収入源を減らすという意図はない、広報紙の全戸配布は行政の責任である。責任を果たすためにどうすべきかという質問である。発行回数を月二回から月一回に減らしたり、各課で配っているチラシ代を合理化したり、フリーペーパーの中に挟み込んで全戸配布してもらうような工夫の余地はあると考えるがどうか。

そういったよその力を借りながら合理的に、正確に伝わるような形で全体を通じて検討してまいりたい。

Q4 現在の広報紙の書体を誰にとっても読みやすいユニバーサルデザイン書体にできないか。

導入に向けて検討する。

ユニバーサルデザイン書体(UDフォント)とは、ユニバーサルデザイン(文化・言語・国籍・年齢・性別などの違い、障害の有無や能力差などを問わずに利用できることを目指したデザイン)の考えに基づき、「できるだけ多くの人にとってわかりやすく読みやすい」ことを目指して作られた書体のことです。

※本紙は全てユニバーサルデザイン書体で構成しています。

総括

宗像市が全国で最初に職員によるDTP化を導入した事、隣の宮若市では一人の職員がDTPにより、シビックプライドを育む広報紙を作成している事を紹介。



宗像市が行革、市民協働として広報紙を市内NPOに委託していることにも理解はするものの、広報紙を通じて命を守る情報やゴミ出しなど生活につながる情報、まちづくりに関わってもらえるようなファンづくりにもつながる紙媒体の広報紙の発行は重要なので、予算を増やしてでも検討して欲しい。

トピックス 進行中のプロジェクトのご紹介

自宅の住み替え(自宅横に建て替え)が終わり、空いた旧宅を市内で活動するNPO(大学生による学習サポート)の拠点として使っていただく事になりました。

この学習サポートを通じて、子育て支援、若者支援、起業支援、賑わいの創出、空き家の利活用など、様々な効果が期待できます。



市内には多くの空き家がありますので、まずは私が実際に家主として関わってみることで、経験値を上げて将来の空き家対策に活かしたいと考えています。



2019年も猪突猛進で頑張ります！

11月の臨時議会において建設産業常任委員長という身に余る役職を頂戴いたしました。2年間の任期期間中、議会での審議はもとより地域経済がより好循環していくように、日々研鑽を重ねて参る所存でございますので、ご指導ご鞭撻の程何卒よろしくお願いいたします。

